

司法試験問題LOD



人工知能法学研究センター
西野文人 佐藤健

元データ：司法試験問題と正答

・ 法務省サイトで公開されている民法・刑法・憲法の短答式試験問題と正答（2015年以降、設問数合計843）のPDF

司法試験問題と正答のPDF

【第8問】（配点：3）

1から5までの各記述を判例の立場に従って検討した場合、正しいものを2個選びなさい。（解答欄は、【No. 9】、【No.10】 順不同）

1. 甲は、乙がA及びBを木刀で順次殴打して両名を負傷させる犯行に及んだ際、これに先立ち、乙の意図を知りながら、凶器として同木刀を乙に手渡し、これらの犯行を幫助した。この場合、甲に2個の傷害罪の幫助犯が成立し、これらは観念的競合となる。
2. 甲は、Aを監禁することを目的として、Aの手足をロープで縛り付けて逮捕し、これに引き続き自宅にAを監禁した。この場合、甲に逮捕罪及び監禁罪が成立し、これらは牽連犯となる。
3. 甲は、自宅でAを殺害し、その死体を自宅の庭に埋めて遺棄した。この場合、甲に殺人罪及び死体遺棄罪が成立し、これらは牽連犯となる。
4. 甲は、火災保険金をだまし取ろうと考え、同居していた妻が不在の間に、自宅に放火して全焼させ、その後に火災原因を偽って火災保険金の支払を受けた。この場合、甲に現住建造物等放火罪及び詐欺罪が成立し、これらは牽連犯となる。
5. 甲は、A名義で預金口座を開設する目的で、Aに成り済ましてA名義で口座開設申込書を作成し、これを銀行の係員に提出して、A名義の預金通帳の交付を受けた。この場合、甲に有印私文書偽造罪、同行使罪及び詐欺罪が成立し、これらは牽連犯となる。

【第9問】（配点：4）

公務執行妨害罪に関するアからオまでの各記述を判例の立場に従って検討し、正しい場合には1を、誤っている場合には2を選びなさい。（解答欄は、アからオの順に【No.11】から【No.15】）

- ア. 甲は、日本国内にある外国大使館の職員Aが同大使館の業務に従事していた際、Aの頭部を拳で殴った。この場合、Aは「公務員」に当たらないから、甲に公務執行妨害罪は成立しない。【No.11】
- イ. 甲は、通行人のバッグをひたたくり窃取したが、これを目撃した制服警察官Aから追跡されたため、逮捕を免れる目的で、Aに対し、反抗を抑圧するに足りる程度の暴行を加えた。この場合、甲に事後強盗罪が成立するから、公務執行妨害罪は成立しない。【No.12】
- ウ. 甲は、県議会の議事が紛糾し、議長Aが休憩を宣言した後、その紛糾に対処するために壇上から降りようとした際、Aの腹部を蹴った。この場合、Aが上記議会の議事を整理し、秩序を保持する職責を有する者であるとしても、休憩宣言により職務の執行を終えているから、甲に公務執行妨害罪は成立しない。【No.13】
- エ. 甲は、制服警察官AがBに対して実施していた所持品検査をやめさせようと考え、Aの背部を蹴ったが、Aが同所持品検査を中断することはなかった。この場合、現実にはAの職務の執行を妨害する結果が発生していないから、甲に公務執行妨害罪は成立しない。【No.14】
- オ. 甲は、警察官Aから搜索差押許可状に基づく自宅の搜索を受け、覚醒剤入りの注射器20本を差し押さえられた際、Aの眼前で同注射器20本を足で踏み付けて、その全てを壊した。この場合、Aの身体に対して暴行を加えていないから、甲に公務執行妨害罪は成立しない。【No.15】

刑法の正解及び配点

満点 50

問	No	解答	配点	備考	問	No	解答	配点	備考
1	1	1	2		16	26	2	2	
2	2	5	2		17	27	4	2	
3	3	1	2		18	28	2		順不同 (部分点なし)
4	4	3	2		29	5	3		
5	5	3	2		19	30	1		順不同 (部分点なし)
6	6	2		順不同 (部分点なし)	31	4	3		
7	7	5	3			20	32	2	
8	8	4	2		33	2			
	9	1		順不同 (部分点なし)	34	2	4		
	10	5	3			35	2		
	11	1		4問正解で 部分点2点	36	2			
	12	2							
9	13	2	4						
	14	2							
	15	2		4問正解で 部分点2点					
	16	2							
10	17	2							
	18	2	4						
	19	1							
	20	2							
11	21	2	2						
12	22	2	2						
13	23	5	2						
14	24	1	2						
15	25	5	2						

基本的な設問の構成

設問番号(question number) 配点(score)

【第2問】(配点：2)

インターネット検索事業者に対し、自らの逮捕歴に関し検索結果として表示される情報の削除を求めることの可否について判断した最高裁判所の決定（最高裁判所平成29年1月31日第三小法廷決定、民集71巻1号63頁）に関する次のアからウまでの各記述について、正しいものには○、誤っているものには×を付した場合の組合せを、後記1から8までの中から選びなさい。（解答欄は、【No. 4】）

ア. この決定は、個人のプライバシーに属する事実をみだりに公表されない利益が法的保護の対象となるとした上、過去に犯した罪の逮捕歴に係る事実は個人のプライバシーに属する事実当たると判断した。

イ. この決定は、検索事業者の行う情報の収集、整理及び提供がプログラムにより自動的に行われることから、検索事業者が検索結果を表示することは、インターネット上の情報を媒介しているにすぎず、検索事業者自身による表現行為とはいえないとした。

ウ. この決定は、プライバシーに属する事実を公表されない法的利益と、URL等の情報を検索結果として提供する理由に関する諸事情を比較衡量し、前者の法的利益が優越することが明らかかな場合には、その情報の削除を求めることができるという判断の枠組を示した。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. ア○ イ○ ウ○ | 2. ア○ イ○ ウ× | 3. ア○ イ× ウ○ |
| 4. ア○ イ× ウ× | 5. ア× イ○ ウ○ | 6. ア× イ○ ウ× |
| 7. ア× イ× ウ○ | 8. ア× イ× ウ× | |

状況文(scenario)

回答番号
(answer number)

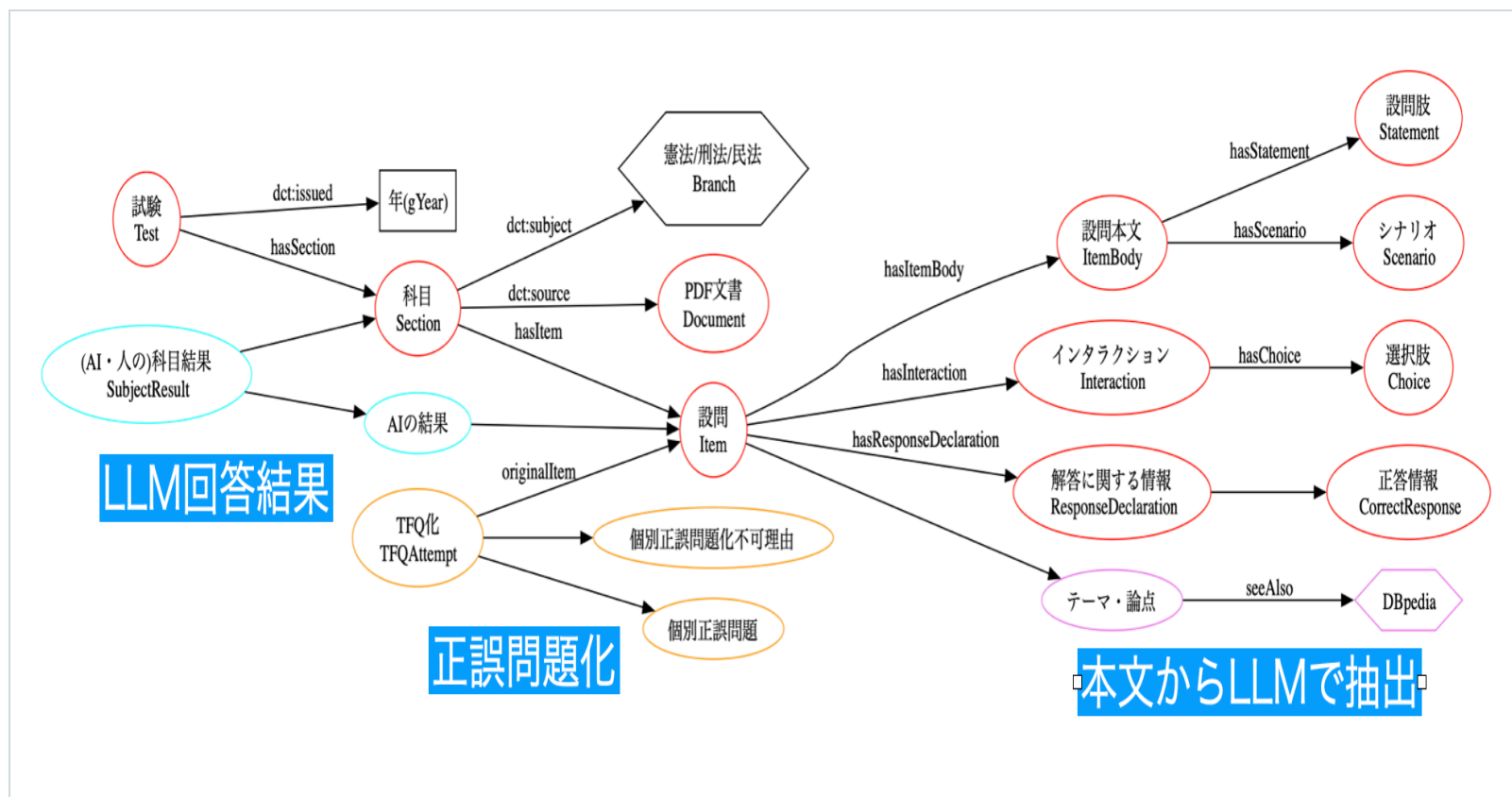
設問肢(statement)

選択肢(choices)

- 組み合わせ問題（組み合わせを選択、複数個を選択、各ステートメントに対して二択）が多い。

司法試験問題と正答のRDF化

- 国際標準規格QTI(Question and Test Interoperability)に準拠
- 正答PDFも解析し、正答、配点、部分点ルールを抽出



正誤問題化の例

- 組み合わせ問題の前提条件を残し、各ステートメントを正誤問題化 → LLMの試験・評価に利用

Aが所有し所有権の登記名義人となっている甲土地をAがBに売却し、更にBがCに売却した場合に関する次のアからオまでの各記述のうち、判例の趣旨に照らし誤っているものを組み合わせたものは、後記1から5までのうちどれか。

ア. AからCへの直接の所有権移転登記について中間者であるBが同意していれば、Aが同意していなくても、Cは、Aに対し、AからCへの直接の所有権移転登記手続を請求することができる。

⇒ 正誤問題化（前提を残して、正誤問題にする）

Aが所有し所有権の登記名義人となっている甲土地をAがBに売却し、更にBがCに売却したとする。AからCへの直接の所有権移転登記について中間者であるBが同意していれば、Aが同意していなくても、Cは、Aに対し、AからCへの直接の所有権移転登記手続を請求することができる。

応用：司法試験ナビゲータ:科目(Section)

SA_2018_刑法(科目)

SectionInfo

attribute	value
試験	2018
試験問題PDF	https://www.moj.go.jp/content/001258878.pdf
正答PDF	https://www.moj.go.jp/content/001259698.pdf

Section

設問番号	設問	テーマ	設問文
10	2018_刑法_10	強盗致傷罪	強盗致傷罪に関する次の各【見解】AないしDに従って後記各【事例】IないしIIIにおける甲の罪責を検討し、後記1から5までの各【記述】のうち、正しいものを2個選びなさい。
11	2018_刑法_11	責任能力	責任能力に関する次の1から5までの各記述のうち、判例の立場に従って検討した場合、正しいものはどれか。
12	2018_刑法_12	詐欺罪	詐欺罪に関する次の1から5までの各記述のうち、判例の立場に従って検討した場合、誤っているものはどれか。
13	2018_刑法_13	共犯従属性	共犯の従属性に関する次の【見解】に従って後記1から5までの各【記述】を検討した場合、正しいものを2個選びなさい。

設問(Item)の画面

司法試験

SA_2018_刑法_1(設問)

ItemOverview

attribute	value
科目	平成30年刑法
設問ID	2018-刑法-Q1
問題形式	複数選択式問題
設問のテーマ	刑罰論
設問の論点	刑罰理論 , 応報刑論と予防刑論の批判 , 正の一般予防論
配点	3
配点備考	http://ds.rois.ac.jp/barexam/ontology/UnorderedAllOrNothing

テーマ(テーマ)の画面と個別正誤問題

責任能力(テーマ)

QuestionsOnThisTopic

設問	#	個別問題
2015-刑法-Q11	4	心神耗弱は、責任能力が著しく減退しているにすぎないから、その刑を減輕しないこともできる。
2015-刑法-Q11	5	13歳の少年が人を殺害した場合、少年法の規定に基づく手続を経れば、その少年に刑罰を科すことができる。
2017-刑法-Q13	1	13歳の少年であっても、事物の理非善悪を弁識する能力及びその弁識に従って行動する能力が備わっていれば、責任能力が認められることがある。
2017-刑法-Q13	2	責任能力の有無は法律判断であり、専ら裁判所の評価に委ねられるべきであるため、その前提となる生物学的・心理学的要素についても、最終的には裁判所により判断される。

LLMでの実行結果

SA_2025_憲法_result_gemini260124simple(AI実行結果)

AI実行結果概要

attribute	value
試験科目	2025 憲法
使用したAI情報	gemini260124simple
AIの得点 / 満点	38 / 50
司法試験受験生の平均点	25.5
設問単位の正解数 / 設問数	14 / 20

各設問に対する結果

設問	AIの回答	正誤	獲得点
2025 憲法 1	1,2,1	True	3 / 3
2025 憲法 2	7	True	2 / 2
2025 憲法 3	8	True	2 / 2
2025 憲法 4	6	True	2 / 2
2025 憲法 5	1,1,2	False	1 / 3
2025 憲法 6	5	True	2 / 2
2025 憲法 7	1	False	0 / 2

2025年の結果全体

試験科目	2025 憲法	試験科目	2025 民法	試験科目	2025 刑法
使用したAI情報	gemini260124simple	使用したAI情報	gemini260124simple	使用したAI情報	gemini260124simple
AIの得点 / 満点	38 / 50	AIの得点 / 満点	53 / 75	AIの得点 / 満点	23 / 50
司法試験受験生の平均点	25.5	司法試験受験生の平均点	44.2	司法試験受験生の平均点	32.4
設問単位の正解数 / 設問数	14 / 20	設問単位の正解数 / 設問数	26 / 37	設問単位の正解数 / 設問数	9 / 20

- 合計点 114/175 (合格ライン93点)

まとめ

1. 司法試験問題をQTI準拠LODとして構造化
2. 組合せ問題を正誤問題として再利用可能化
3. LLM評価結果を結合し、比較・分析基盤を提供

⇒

- 司法試験問題に対する様々な検索を可能とした。
- LLMの司法試験問題回答能力評価を3つの層（法知識の正確性の評価、論理的・一貫性や選択制約処理の評価、レイアウト構造認識能力の評価）で可能とした。